

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	久行 敏彦
主な担当科目	ミュージックセオリー(初級),鍵盤ソルフェージュ①_M,鍵盤ソルフェージュ①_P,作曲・編曲法Ⅰ_A,作曲・編曲法Ⅰ_B,聴音・視唱ソルフェージュ①_E,聴音・視唱ソルフェージュ①_F,副科グループLESSONⅠ,副科グループLESSONⅡ,副科グループLESSONⅢ,副科グループLESSONⅣ,作曲
2024年の教育目標・授業に臨む姿勢	昭和音楽大学へは2024年4月からの着任ということで、極力早いタイミングで各授業の履修学生の力量を見極め、あらかじめ用意した授業資料の内容(分量・レベル)が適切か否かを見極め、学生のニーズに応えられる内容へ修正が必要であれば速やかに行う。また、学生の中で見られる到達度の個人差については進度の遅い学生に対し、授業時間の最後の5～10分の中で対応するようにしている。
2024年の教育に関する自己評価	基礎ゼミ以外は通年科目であったが、どの科目もほぼ初回の授業で、履修者数が多い科目でも前期3回目くらいまでには履修学生のおおよそのレベルを把握することに成功できたと考えている。「作曲・編曲法」について、教職に必要な科目ということで授業を行ったが、学校の授業以外の現場での編曲にも役立てるような内容も盛り込んであげられるのではないかと考えたので、この点については25年度からさらに前向きに検討していきたい。
2024年のFD活動に関する自己評価	2024年4月に着任ということで昭和音楽大学のFD活動がどのようなものをまず把握することであると認識し、全体研修会、部会ごとの研修会に参加させていただいた。おおよその様子は把握できたのではないかと考えている。
授業改善のために取り入れた研修内容	ソルフェージュ部会において、初歩のレベルの学生に対して、基礎のクラスを担当されている先生方の意見、報告は参考になった。いずれ基礎クラスを担当した時には活かせると考えている。

2024 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:3677 教員名:久行敏彦

1)アンケート結果に対する所見

授業に対する満足度その他、ほぼ想定の範囲内であった。

2)要望への対応・改善方策

特に要望等の記述は見られなかったが、今後もより学生に寄り添い、誠意ある姿勢で授業に臨みたい。

3)今後の課題

授業を進める中で新たな課題がみつければ適切に対応していきたい。

以 上